

管内関係機関 担当者 様

感染症発生動向について

このことについて令和8年第25週(6月15日～6月21日)の動向をお知らせします。

定点あたり患者数(1医療機関当たりの平均報告数)

感染症の種類	県北保健所管内 (平戸市、松浦市、佐々町)			長崎県	全国
	23週	24週	25週	25週	25週
インフルエンザ	0	0	0	0	0.07
新型コロナウイルス感染症	1.67	0.33	0.33	4.27	0.85
RSウイルス感染症	1.50	3.00	1.00	1.35	0.40
咽頭結膜熱	●4.00	●5.00	●3.00	0.84	0.60
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.50	2.50	1.00	2.68	2.48
感染性胃腸炎	1.50	5.00	4.00	2.97	4.82
水痘	0.50	0	0	0.23	0.35
手足口病	●8.00	●12.5	●11.50	●8.77	3.40
伝染性紅斑	0	0	0.50	0.03	0.06
突発性発疹	0.50	1.50	0.50	0.39	0.36
ヘルパンギーナ	1.50	1.50	1.00	0.68	0.85
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0.05
急性出血性結膜炎				0	0.01
流行性角結膜炎				1.13	0.44
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.02
無菌性髄膜炎	0	0	0	0.08	0.04
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0.25	0.23
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0.02
急性呼吸器感染症(ARI)	27.33	25.67	27.00	56.37	48.68

●:警報レベル ▲:注意報レベル

【トピックス】 手足口病に注意しましょう。

手足口病は、その名のとおり四肢および口腔内に水疱性の発疹を生じる疾患です。乳幼児での発症が多く、例年報告数の9割程度を5歳以下が占めますが、大人でも感染する可能性があります。主として咳やくしゃみなどのしぶきを介した飛沫感染や、飛沫や便に含まれるウイルスが手指を介して口から侵入する接触感染により広がります。主な原因ウイルスとしてコクサッキーウイルスA6(CV-A6)、CV-A16、エンテロウイルス71型(EV-A71)が知られています。

基本的には予後良好な疾患ですが、原因ウイルスによっては、中枢神経系合併症などのほか、心筋炎、急性弛緩性麻痺などの多彩な臨床症状を併発することがあります。例年6～7月に流行する傾向にあります。長崎県の第25週の定点当たり報告数は「8.77」で前週より減少しましたが、3週続けて警報レベルの報告数となっています。佐世保地区(20.75)、県央地区(17.00)、県北地区(11.50)、長崎地区(9.50)、西彼地区(5.00)、壱岐地区(2.50)は、警報レベルの報告数となっています。年齢別では、2歳以下で全体の約9割を占めています。今後も手洗いを励行し、感染防止に努め体調管理に気をつけましょう。

【トピックス】 新型コロナウイルス感染症に注意しましょう。

新型コロナウイルス感染症の長崎県における第25週の定点当たり報告数は「4.27」で、6週続けて増加しました。年代別では、10歳未満(66%)、10代(26%)の順に多く、14歳以下で約9割を占めています。多くの地区で前週より増加しましたので、今後の動向に注意が必要です。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

詳細は長崎県感染症情報センターホームページ「新型コロナウイルス感染症」に掲載しています。